

JCB デビットカードがTKCの会計ソフトに対応

～カード利用明細データの API 連携を開始～

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼 執行役員社長：二重 孝好 以下：JCB）は、株式会社TKC（本社：栃木県宇都宮市、代表取締役社長：飯塚 真規 以下：TKC）と、JCB デビットカードの API（※1）連携を、2026 年 7 月 17 日（金）より開始します。

※1 API:「Application Programming Interface」の略



今回の取り組みについて

JCB は、TKCが提供するサービスと従来よりカード利用明細データの API 連携を行っており、JCB カード会員様の同意を得たうえで、JCB カードの利用明細の自動連携および自動仕訳を実現しております。

今回、自動連携の対象カードに JCB デビットカードが追加されることで、JCB デビットカードをお持ちの会員様もTKCの会計ソフトで各種会計処理の自動仕訳をご利用いただけるようになります。



<JCB デビットカードと API 連携が可能なFXクラウドシリーズ>

以下のシステムで JCB デビットカードとの API 連携を実施できます。

- ・FXまいスタークラウド
- ・FXまいスタークラウド(個人用)
- ・FX2クラウド
- ・FX2クラウド(個人用)
- ・FX4クラウド
- ・FX5クラウド
- ・DAIC2クラウド
- ・DAIC3クラウド
- ・MX2クラウド
- ・MX3クラウド
- ・FX2農業会計クラウド
- ・FX2農業会計クラウド(個人用)
- ・FX2社会福祉法人会計クラウド
- ・FX4クラウド(社会福祉法人会計用)
- ・FX2公益法人会計クラウド
- ・FX4クラウド(公益法人会計用)
- ・FX2学校法人会計クラウド
- ・FX2NPO法人会計クラウド

※このほか、FXクラウドシリーズ以外のTKCシステムとも API 連携が可能です。

<https://www.tkc.jp/fx/>

MyJCBのAPI連携について

MyJCB の API 連携を利用した各種サービスでは、「MyJCB ID・パスワード」の保存が不要で、非常にセキュアな環境のもと、JCB カードのご利用明細を自動で取り込むことで入力の手間を省けます。家計簿の項目分けや会計処理の自動仕訳も可能です。

また、法人様の場合、経理業務の効率化が見込まれるため、現金決済をキャッシュレスに移行するほどデータ連携の利便性をより享受いただけます。

※MyJCB 外部接続サービスの詳細は[こちら](#)

JCB は、「おもてなしの心」「きめ細かな心づかい」でお客様一人ひとりのご期待に応えていきます。そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思ってもらえる、お客様にとっての世界にひとつをめざし続けます。

以上